

## 第19回 第7次NACCS合同作業部会 議事要旨

1. 日時：令和4年12月8日（木）10:00~12:00

2. 場所：オンライン開催（Microsoft Teams）

3. 出席者：別紙の通り

4. 議事の概要

### (1) 議題1 第18回合同作業部会の結果報告

○ 議事資料1に基づき、事務局より説明を行った。

➤ 前回WGの議題「航空貨物における仮陸揚関連業務の改善」について、航空会社としての責任範囲を踏まえたうえで、詳細なユースケースを想定した運用方法や影響についての説明の場を設けていただきたい。（委員）

⇒ ご要望について承知しました。（事務局）

### (2) 議題2 特例申告業務の改善

○ 議事資料2に基づき、事務局より説明を行った。

### (3) 議題3 修正申告の審査業務 効率化

○ 議事資料3に基づき、事務局より説明を行った。

➤ 新規修正申告業務を実施する場合、関連資料は現状と同様「申告添付登録（MSX）」業務で提出可能か。（委員）

⇒ 現状と同様MSX業務による関連資料の提出は可能です。（事務局）

⇒ 新規業務にて税率を計算していただけるのはありがたいが、当初申告を含めて税率計算していただけるのか。また、呼出しを行わず手入力となった場合には、その時点の税率が適用される認識でよいか。（委員）

⇒ ご認識の通りです。（事務局）

➤ 現行の修正申告業務と新規修正申告業務は両方使用できるとのことだが、修正申告に関する帳票は同じフォーマットになるのか。（委員）

⇒ 項目が異なるため全く同じとはなりません、極力同じフォーマットにしたいと考えております。（事務局）

⇒ 複数の当初申告を1件の修正申告にまとめる場合は現行の修正申告業務を使用し、当初申告1件ごとの場合新規修正申告業務を使用する認

識でよろしいか。(委員)

⇒ご認識の通りです。(事務局)

⇒新規修正申告業務でチェックを行うと税関へ通知されるとのことだが、仮に初回でチェックを入れて通知を実施したのち、修正申告の訂正を行う場合は再度通知のためのチェックを入れて新規修正申告業務を実施することになる、その場合税関に別途通知する必要はあるか。

(委員)

⇒2度目のASA業務でチェックを入れる時点で税関には通知されます。運用については今後の検討となるかと思えます。(事務局)

⇒新規業務を繰返し実施すると1件毎に料金が発生する認識か。(委員)

⇒ご認識の通りです。(事務局)

➤ 資料4ページについて、記載は無いが現在の運用では「修正申告事項登録(AMA)」業務を実施する前にも、税関へ修正申告がある旨の事前連絡を行っている。通知機能を設ける場合においてもこの事前連絡が必要か曖昧である。どのような運用を想定されているか。(委員) 委員

⇒運用は今後検討とさせていただきたい。事前連絡の要否は関税局、税関で協議を行う。(東京税関)

(4) 議題4 納期限延長に係るリアルタイム口座対応<2>

○ 議事資料4に基づき、事務局より説明を行った。

(5) 議題5 包括評価申告の個別業務化

○ 議事資料5に基づき、事務局より説明を行った。

(6) 議題6 石油石炭税法第15条に基づく特例納付のシステム化

○ 議事資料6に基づき、事務局より説明を行った。

(7) 議題7 裏書業務における一括登録業務の新規追加

○ 議事資料7に基づき、事務局より説明を行った。

(8) 議題8 外為法関連業務のWeb化

○ 議事資料8に基づき、事務局より説明を行った。

(9) 議題9 第2回輸入食品業務SWG結果報告

- 議事資料9に基づき、事務局より説明を行った。

(10) 議題10 DB保存期間の延長

- 議事資料10に基づき、事務局より説明を行った。

(11) 議題11 納付書等出力先の改善<4>

- 議事資料11に基づき、事務局より説明を行った。

(12) 議題12 WebNACCS（海上入出港業務）追加改善案件

- 議事資料12に基づき、事務局より説明を行った。

(13) 議題13 利用申込手続の改善<2>

- 議事資料13に基づき、事務局より説明を行った。
  - 「NACCS登録希望日」はNSSでの申し込みすべてに対象になるという認識か。また、NACCSへの反映のタイミングということか。（委員）
    - ⇒現在も保持している機能で、システム設定について登録の希望日として設けています。NACCSへの反映日として設けており、最短4営業日での反映を行っています。（事務局）
    - ⇒「最短の日程で登録を希望」を選択した場合はどうなるのか。（委員）
    - ⇒資料1ページの現行と同様4営業日で反映いたします。（事務局）
  - NSSでの申し込みの反映について最短4営業日とのことだが、反映期間の短縮は検討されていないか。U業務で提案された部分は短縮できるのではないか。（委員）
    - ⇒短縮可能か可否を含め検討させていただきます。（事務局）

(14) 議題14 第7次NACCSにおける認証方法

- 議事資料14に基づき、事務局より説明を行った。

(15) 議題15 第7次NACCS詳細仕様検討状況

- 議事資料15に基づき、事務局より説明を行った。
  - 資料4ページに記載のSP貨物の増加に伴う対応については、現状業務処理の遅延が発生しており、7次NACCSでも想定される将来の貨物のポリ

ユーモを踏まえてハードウェア等の増強は再検討されているのか。（委員）

⇒ 件数の増加は認識しており、記載の通りハードウェアも増強する方針で検討している。（事務局）

⇒ 7次NACCS稼働後もトラフィックの増大が懸念されているが、どの程度耐えられるシステムを準備される想定か伺いたい。（委員）

⇒ 具体的な数字は示せないが、現状の試算ではトラフィックの増加が7次NACCSのシステムエンドの8年後まで見込まれた水準に7次NACCS開始時点で達する試算となっているため、それを踏まえた対応をさせていただく。（事務局）

⇒ eコマースの増加や海上業務の対応で今後も増加が予想される、それを踏まえた増強をお願いしたい。また、更改後も状況に応じた増強を迅速に対応できるよう、準備をしていただきたい。（委員）

⇒ 承知した。件数等注視したうえで対応させていただきたい。（事務局）

## 5. 連絡事項

- 今後のスケジュールは以下を予定している。
  - 2023年1月12日（木） 第20回合同作業部会
  - 2023年2月2日（木） 第5回更改専門部会
- 本日の議題について、ご質問・ご意見等があればアンケートフォーム、メール等にてお寄せいただきたい。

以上